

# 数学

## 京都大学〔文系〕(前期)

＜全体分析＞		試験時間	120 分	解答問題数	5 題
<div>解答形式 記述式</div> <div>分量・難易（前年比較） 分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加） 難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化）</div> <div>出題の特徴や昨年との変更点 昨年はなかった独立小問が出題された。</div> <div>その他トピックス 5は理系4の類似問題。</div>					

### ＜大問分析＞

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1 問1 問2	指数・対数 整数	数学Ⅱ 数学A	指数に関する等式の証明 整数の除法	やや易 標準
2	図形と方程式	数学Ⅱ	恒等式の条件から点の集合を求める	標準
3	確率・数列	数学A 数学B	漸化式を立てて解く	やや難
4	微分法・積分法	数学Ⅱ	共通接線と曲線で挟まれた部分の面積	標準
5	空間ベクトル	数学C	平面が定点を通ることを示す	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### ＜学習対策＞

近年,計算力を問う問題が増えており,繁雑な作業を効率的に行う力を養いたい。例年,問題の構造を把握して方針を立てる力も問われているので,合わせて対策したい。 誘導の小問を削って練習することや,答案作成の練習のために添削指導を受けることも有効である。
--